

事前評価調書

I 事業概要																																													
事業名	街路事業（自転車歩行者道設置）																																												
地区名	尾張都市計画道路 3・4・60号入鹿出新田小牧線																																												
事業箇所	小牧市大字小牧原新田																																												
事業のあらまし	<p>本路線は、国道155号と名鉄小牧駅を結ぶ幹線街路であり、小牧市の都市計画マスタープランにおいて都市づくりの目標のひとつである「自転車や徒歩、公共交通を重視した、自動車に頼らないで暮らせる都市づくり」に寄与する道路である。</p> <p>道路東側には名鉄小牧原駅がありますが、現況では、十分な自転車・歩行者空間は確保されていない状況である。</p> <p>駅利用者や通学児童などが安全・快適に通行できるように、廃止された桃花台線の橋梁を撤去し、平面部を活用して両側に自転車歩行者道を整備するため、本路線の再構築を図るものである。</p>																																												
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■歩行者等の安全性向上 ■公共交通機関へのアクセス利便性向上 <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																																												
事業費	事業費	内訳																																											
	10億円	□工事費9.0億円、□その他1.0億円																																											
事業期間	採択予定年度	平成27年度	着工予定年度	平成27年度	完成予定年度	平成34年度																																							
事業内容	自転車歩行者道設置 (L=500m、W=19m、車線数2)																																												
II 評価																																													
①事業の必要性	1) 必要性	名鉄小牧原駅がある道路東側には歩道がなく、西側の歩道も狭いため、駅利用者を始めとする歩行者等の安全性の確保が必要である。																																											
	判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>歩行者等の安全が確保され公共交通機関の利用促進につながることから、事業効果の発現が期待される。</p>																																										
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">工種 区分</td> <td>調査・測量・設計</td> <td colspan="3">←————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td colspan="6">←————→</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費(億円)</td> <td colspan="4">6.0</td> <td colspan="4">4.0</td> </tr> </tbody> </table>							H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	工種 区分	調査・測量・設計	←————→								工事			←————→						事業費(億円)		6.0				4.0			
			H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34																																			
	工種 区分	調査・測量・設計	←————→																																										
		工事			←————→																																								
事業費(億円)		6.0				4.0																																							
2) 地元の合意形成	桃花台線構造物の撤去及び平面道路の再整備等を説明会で一般の方に説明するとともに、愛知県のHPにも掲載していることから一定の合意形成がなされている。																																												
判定	A	<p>A： 事業計画の実効性が期待できる。</p> <p>B： 事業計画の実効性が期待できない。</p> <p>【理由】</p> <p>説明会等により地元の合意形成が図られており、必要な用地もすべて確保されているため事業の実効性は高いものとする。</p>																																											

Ⅲ 対応方針	
妥当である	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後 5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備による当該路線交通量の変化（歩行者等） ・公共交通機関へのアクセス利便性向上に関するアンケート 	